

創立50周年



山王小だより

男子213名 女子204名 計417名

令和8年2月28日
狭山市立山王小学校
学校だより No.40

校長 市川 博康

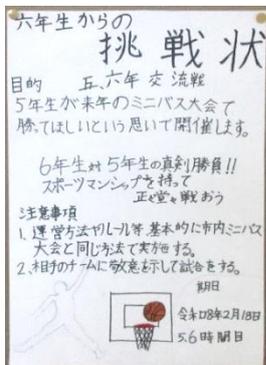
「感謝」と「決意」そして「自分で考え、判断し、行動」できる人に

まもなく3月。1年間の締めくくりとなります。3月24日は、第50回の卒業証書授与式、3月26日は、令和7年度修了式となります。本校74名が巣立ち、343名が進級します。卒業式や修了式は、これまで支えてくださった全ての方への「感謝」の気持ちを表し、次への「決意」あふれる式にしたいと思っています。進級後も自分で考え、判断し、行動できる人になるよう一步一步成長してほしいと思っています。

学校では、学習の基礎・基本を学ぶと同時に、「学び方」「調べ方」「考え方」「伝え方」等、思考力を身に付けさせようと子供たちを指導しています。例えば、調べたことを発表する際に、どのように発表したら聞き手が分かりやすいのか、発表の仕方を自分なりに考えさせています。また、友達とけんかした時や悪口を言ってしまった時など、大人がすぐに答えを与えてしまうのではなく、「どうしたらよいと思う？」と問い、自分で責任を取らせる方法を考えさせたり、自分の力でトラブルを解決したりする方法を身に付けさせようという指導もしています。

老子の言葉に「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ。」(出典元は老子以外に諸説あるようです) 子供に例えるなら、空腹の子供に1匹の魚を与えても一時的に空腹を満たすが、空腹の子供に魚の釣り方を教えれば、再び空腹になっても自分の力で魚を釣ることができる。子供に一生の食べ物を与えたことになるというお話です。

これからの変化の激しい時代をたくましく生きていくためには、「今の1匹の魚」よりも「魚の釣り方」を教え、自分の頭で考えさせ、判断し、(失敗してもよいので) いろいろな魚を自分の力で釣れるような「考える力」「対応力」を身に付けさせたいと考えています。



2/25 (水) 5, 6年生バスケットボール交流戦

延期になっていた交流戦が行われました。5年生は、2月の体育の授業(バスケットボール)を終えて、6年生は、6月のミニバス大会以来の交流戦でした。どちらの学年も、一生懸命ボールを追っている姿が印象的でした。



2/26 (木) 山王中教員による出前授業(6年生)

中学校に入学する心構えや物の準備等について話を聞きました。